

MIZUHO



瀬木学園だより

学校法人瀬木学園

愛知みずほ大学・大学院

愛知みずほ大学短期大学部

愛知みずほ大学瑞穂高等学校



「とっておき MIZUHO」短期大学部編	1
「とっておき MIZUHO」大学編	2
「発健(見) MIZUHO」	3
「足跡 MIZUHO」	4
「新生 MIZUHO」	4
「スケッチ MIZUHO」	5
「INFO MIZUHO」	5
「瑞想録」	5

ここ数年、卒業生から届く年賀状の中に「学園だより」を読んでいると書かれたものを何枚か発見します。それは、作り手としてはうれしいのはもちろん、卒業生と今でもつながっていられることをうれしく思う瞬間もあります。

今号の特徴は「つながり」です。それは、本学園に学ぶ者同士、卒業生との、そして、地域の方々とのつながりです。様々な「つながり」を通して、本学園の「いま」をご紹介しますので、お楽しみください。



とっておき
MIZUHO



卒業生から「とっておき」のアドバイス 卒業生就職相談会

卒業生が、卒業生ならではの貴重なアドバイスで後輩たちを応援。平成29年10月8日(日)に、短期大学部の就職希望者50名(1年生20名・2年生30名)を対象に、卒業生38名による就職相談会が行われました。協力してくれた卒業生は卒業4年未満で、年齢的に距離が近く話しやすいことと、就職をめぐる環境が似通っていることから、学生たちは次から次へと相談を持ちかけていました。また、相談会後の「母校に帰る日」と称した情報交換会には教職員も加わり、昼食をとりながら近況を語り合い、旧交を温めました。相談会に参加した学生からは、「話を聴きたいOGが来てくれたので、とても参考になつた。」「養護教諭の現場の話を聞けて、貴重な体験になった。」「聞いた先輩全員の話が役に立つ。」「仕事のやりがいについて聞けてよかったです。」などの感想が聞かれました。また、情報交換会では、先輩、後輩との間で連絡先を交換する姿も見られました。



平成29年度 卒業生就職相談会&母校に帰る日(情報交換会)

日 程 2017年10月8日(日) 10:00~13:00
会場:体育室・1号館学生ホール

- ① 就職アドバイザー相談会 10:00~11:30
- ②「母校に帰る日」(情報交換会) 11:30~13:00

内 容 前半は、卒業生を就職アドバイザーとし、ブース形式で職種に分かれ在学生を対象とした就職相談会を実施。後半は、卒業後の近況を語り合い、旧交を温め合う。在学生も同窓会が支援することで母校愛が形成され、卒業生・先輩・教職員とのタテ・ヨコ・ナナメの関係づくりが期待できる。

主 催 愛知みずほ大学・短期大学部 キャリア指導室
後援:瑞葉会(短期大学部同窓会)

参 加 者 ①卒業生38名(卒業4年未満) 養護教諭・栄養士・事務・販売・保育士・総合職・介護職等
在校生50名(1年20名, 2年30名)
②卒業生50名、教職員13名

備 考 相談会を機に2名の学生が卒業生のいる会社に内定。



なごや健康カレッジ 健康へのいざない



大学編では、名古屋市と連携して行った健康講座「健康へのいざない～運動、栄養、心理面からのアプローチ」についてご紹介します。

「なごや健康カレッジ」とは、名古屋市と地元の大学が連携して実施する健康づくりの講座で、愛知みずほ大学も協力し、6回の講座を開きました。本学が用意した講座は、健康の3大要素である運動、栄養、心理面から実技を交えながらの健康寿命延伸を目指す内容で、2017年10月3日(火)から11月7日(火)までの毎週火曜日に行いました。受講者は34名で、そのうちの21名が6回すべての講座に出席されました。

受講者に対して全講座終了後に実施したアンケートでは、満足度に関する5段階評価で、4.52という高い数値が得られました。具体的な感想として、全体に関しては、「講座は非常によかったです。健康と病気に対する意識が変わった。」「ウォーキング、筋力トレーニング、食事の併用効果が理解できた。」「食べ物、食べ方、運動など、これから的生活で役立てていきたい。」、他大学実施の講座との比較では、「なごや健康カレッジは4回目の参加だが、講師・学生・関係者の熱意を感じられ、今まで一番よかったです。」、サポートとして参加した本学の学生に関しては、「態度がよく、今後が楽しみ。」というコメントが寄せられました。また、「来年も参加したい。」「来年も楽しみ。」と、再度の開講を望む声も多く聞かれました。

全 講 座 概 要

第1回 10月3日 「健康寿命を延ばそう」(佐藤祐造 学長・教授)

第2回 10月10日 「体操で、転ばぬさきのチョキン①～転倒予防体操運動その1～」(上原治一 特任教授)

第3回 10月17日 「糖尿病合併症の予防～食事と運動～」(佐藤祐造 学長・教授)

第4回 10月24日 「アンチエイジングから長寿へ」(土田満 教授)

第5回 10月31日 「心と健康～生きていることの意味～」(安念保昌 教授)

第6回 11月7日 「体操で、転ばぬさきのチョキン②～転倒予防体操運動その2～」(上原治一 特任教授)

大好評

※括弧内は担当者



発健(見)
MIZUHO

自分たちの手で新たな企画を 移動販売開始

大学1号館の玄関前に移動販売の車を見かけるようになりました。その周辺は、学生たちでいつも賑わっています。この移動販売は、大学保健体育コース2年の渡邊優駿さんが提案して実現した企画です。今回は、移動販売の企画を「発健(見)」です。企画実現の中心となった渡邊さんに、お話を伺いました。

M どうして移動販売を思いついたのですか?

学生会の副会長を務めていて、今までに無いことをやりたいなと思いました。そこで、大学には学食が無いので、移動販売を取り入れたいと思いました。

M どのような経緯で実現したのですか?

移動販売を始めようということで、とりあえず大学・短大の学生の中でアンケートをとりました。何項目かあった中で、クレープが一番人気だったので、クレープ屋さんになりました。日進市にある『BARI'S CAFE』さんです。

M どのようにして見つけたのですか?

インターネットで調べて電話をしました。最初に電話したのが、『BARI'S CAFE』さんで、一発で決まりました。運が良かったです。

M クレープ屋さん以外にもハンバーガー屋さんも来ていますよね。なぜ、ハンバーガー屋さんを呼ぶことにしたのですか?

男子学生から、クレープではなくガッツリしたものも食べたいという要望があったんです。それで、『BARI'S CAFE』さんに相談して紹介してもらったのが、今、来ていただいている『WITH ALOHA』さん(名古屋市)です。

M 最初にクレープ屋さんを見つけ、そこからまたハンバーガー屋さんを見つけていったということで、人と人が繋がっていくという感じですね。今年の4月に学生会の副会長に就任したと思うのですが、今回の企画についての構想を持ったのはいつですか?



多重 移動 販 売



渡邊優駿さん



去年の11月後半の選挙の頃には、移動販売やイベントなどをいろいろやりたいと、すでに思っていました。

M 学生会の中で構想を練ると思うのですが、渡邊さんが一任されたのですか?

自分でやりたいと思ったことなので、自分に任せもらいました。

M 他にも何か取り組みたいことはありますか?

1年生から4年生までの他学年同士の関わりが少なくなってきたので、距離感をなくせるようなことを今後はやっていきたいです。挑戦することが好きなので、今後もこのようなことを行って、自分が成長する糧になれば良いなと思いました。

インタビューを終えて

インタビューを終えた感想は、「頼もしい」の一言に尽きます。渡邊さんは、これからも今回のようなことに挑戦して、自分を成長させていきたいとも語ってくれました。今後の渡邊さんと学生会の活躍が楽しみです。なお、インタビューは、昨年の12月に行いました。



今回は「瑞穂短期大学」(現「愛知みずほ大学短期大学部」)を昭和40年・41年に卒業された方々のおよそ半世紀ぶりの母校訪問を、本学園の「足跡」としてご紹介します。それは過去のものだけではなく、ご訪問いただいた皆さんと本学園との更なるつながりとして、未来に向けての新たな「足跡」となるものもあります。



平成29年10月26日(木)に、瑞穂学園寮(秋桜会)第1期生、2期生(昭和40年卒、昭和41年卒)の卒業生の皆さん18名が本学に来校されました。『瑞穂短期大学』卒業後、51年、52年ぶりの母校訪問でした。大塚知津子理事長・学長、稻垣聰子先生、村瀬隆彦事務局長による歓迎の挨拶の後、本学のオープンキャンパスで使用しているキャンパスムービーを見ていただきました。その後、新校舎内、図書館本館を見学していただきました。図書館本館では、当時、教鞭を執っておられた瀬木三雄先生の文庫も見学していただきました。

在学当時とすっかり様変わりした現校舎に、学園の新たな歩みを感じとつていただけたでしょうか。当日、用意した古い資料などを懐かし気にご覧いただいている皆さんの姿に、母校に寄せる深い想いがうかがわれました。

今回の訪問に関してご尽力いただいた寮母の舟橋いさゑ先生、幹事の市川靖子様に厚くお礼申し上げます。



職員の能力向上を目指して SD研修会

平成29年12月8日(金)に文部科学省初等中等教育局教職員課長補佐の山口大地氏をお招きして愛知みずほ大学SD研修会を開催しました。研修は2部構成で、第1部「最近の文部省の施策と大学改革」と第2部「教職課程の再課程認定のポイント」についての内容で行われました。

SD(スタッフ・ディベロップメント)とは、大学職員の能力を高めていくための取り組みです。大学改革をする上で、大学職員の果たすべき役割は従前に比べ、極めて大きく、その職能開発が急務となっています。そのため、これまで法令上、努力目標であったSDは、2017年4月1日に改正された大学設置基準において義務化されました。本学では、これまででも独自のプログラムによりSDに関する研修を行ってきましたが、今回は、その義務化に伴い、研修のさらなる充実を図るべく、初等中等教育行政全般に通じ、教育課程の分野では専門家として知られる山口氏をお招きすることとなりました。



右端(奥)が山口氏



Newspaper



スケッチ MIZUHO

スケッチ3景(大学・短期大学部・高等学校)

第
1
景

初めての学外AMC祭 大学

今年度のAMC祭(学祭)は10月28日(土)に、南知多グリーンバレイで行われました。学外で学祭を行う試みは初めてです。当日は雨降りという、あいにくの天気となりましたが、参加した学生達はバーベキューや学生会が用意した催しで大いに楽しみました。



BBQ!



第
2
景

保健室インターンシップ 短期大学部

短期大学部養護教諭コース(生活学科生活文化専攻)の2年生4名が、10月から12月にかけて2グループに分かれて、それぞれ3日間ずつ系列校の瑞穂高等学校の保健室でキャリアインターンシップを行いました。

キャリアインターンシップでは、実際に保健室を訪れた生徒の対応や処置内容の記録、健康管理に関する掲示物の作成等を行いました。



第
3
景

名古屋グランパス青木亮太選手来校 高等学校

平成30年1月10(水)の「110番の日」に、瑞穂警察署一日警察署長を務められた名古屋グランパスの青木亮太選手が、110番の正しい利用法や防犯意識啓発のため、高等学校に来校されました。



INFO MIZUHO

愛知みずほ大学短期大学部の名称変更

「愛知みずほ短期大学」へ

平成30年度、現代幼児教育学科を新設し、学科が2学科となることを機に、平成30年4月1日より、「愛知みずほ大学短期大学部」から「愛知みずほ短期大学」へと名称変更することとなります(文部科学省高等教育部大学設置室により平成29年12月22日付認可)。今後も、より一層特色ある女子教育の推進を図るために、教職員一同力を合わせて努力して参りたいと存じます。何卒、皆様のご理解・ご支援を賜わりますようよろしくお願ひ申し上げます。

瑞想録

「つながり」をテーマにお贈りした本号はいかがだったでしょうか。学園内のつながりはもちろんのこと、これからは、学園の発展と社会貢献のために欠かせない地域とのつながりをますます広げ、強めて参ります。また、名称を変更いたします短期大学部の各方面との新しいつながりにもご注目ください。

転寝